

受験者の8割が日本人平均（38点）を上回る！ 平均スコア45点、4人に1人が大台の50点超え！ VERSANTで「本当に話せる」英語力を証明！



2018年11月16日
株式会社 日本経済新聞社

日本経済新聞社は16日、全国一斉英語テスト「第1回 VERSANT英語スピーキング・チャレンジ」の最新レポートをまとめました。特典が当たるキャンペーンの最終締切日である11日までの受験者の平均スコアは44.9点で、日本人平均の38点を大幅に上回る高い水準となりました。

受験者全体のTOEIC申告スコアの平均はほぼ800点。このうち2割強が900点台の「英語上級者」でVERSANTの平均スコアは51.2点という結果に。TOEIC800点台は3割強で、VERSANTの平均スコアは46.4点でした。

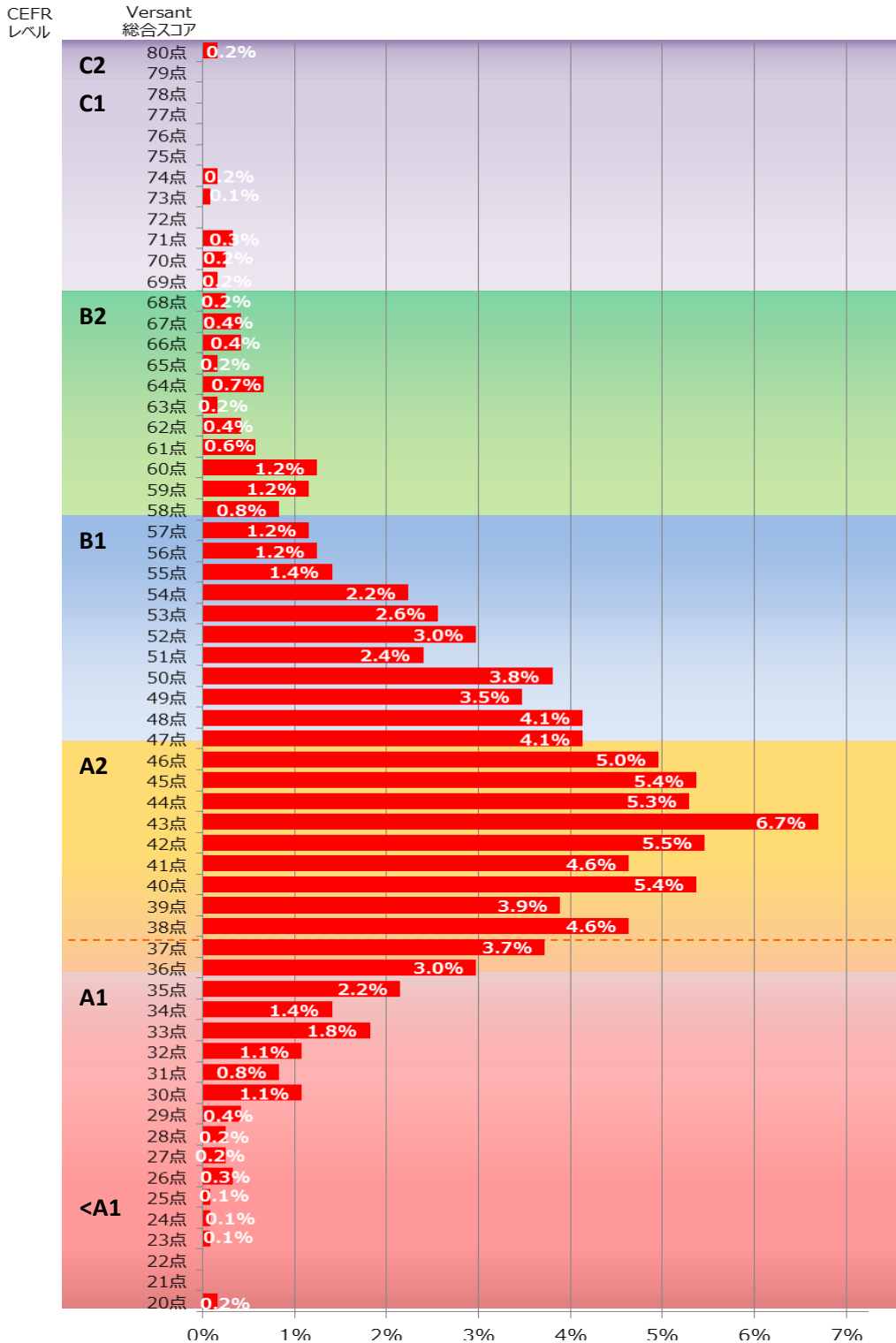
VERSANTは世界で数多くのグローバル企業にご利用いただき、「本当に話せる英語力の証明」として人材採用や研修成果の測定など様々な用途に使われています。今回のスピーキングチャレンジでも日頃から英語を丹念に勉強されている方々に数多く受験していただきました。今回は合計2回受験可能ですが期限が12月末までとなっております。まだ2回目の受験をされていない方もかなりおられます。今後も詳細なレポートを作成してお送りいたします。

英語スピーキング力を客観的に把握できるVERSANTのご受験をこれからもよろしくお願ひします。

最新結果のポイント

- ・受験者の**VERSANTスコア平均は44.9点**
⇒日本人平均（38点）を7点も上回る高水準を記録
- ・受験者の**TOEIC申告スコア**の平均は**796点**
⇒2割強が900点台、VERSANTスコア平均51.2点
- ・最も平均スコアが高いのは「**学生**」で**49.7点**、「**金融系**」は**45.1点**
- ・「**流暢さ**」は平均**41.6点**と苦戦、「**語彙**」は**49.9点**と善戦

VERSANT総合スコア分布

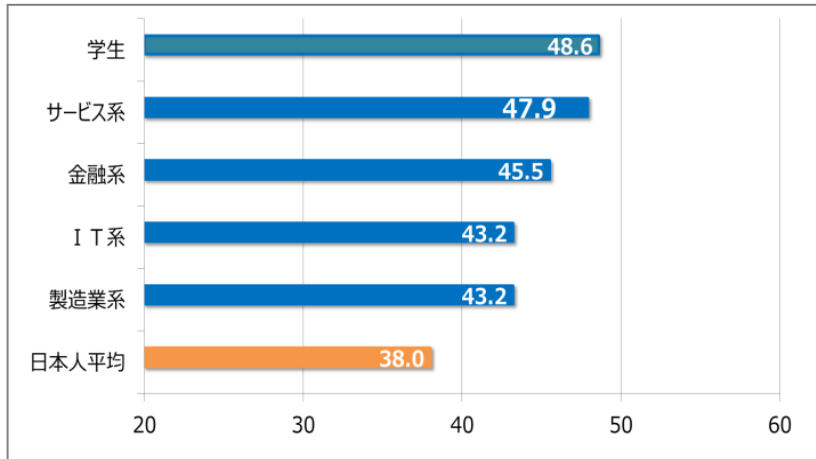


8割弱が日本人平均（38点）を超えるという高い水準となりました

「第1回 VERSANT 英語スピーキング・チャレンジ」 受験者の方へ

スピーキングチャレンジに参加された方は、合計2回受験することができます。
受験の期限は12月末となりますので、まだの方は是非2回受験してください。

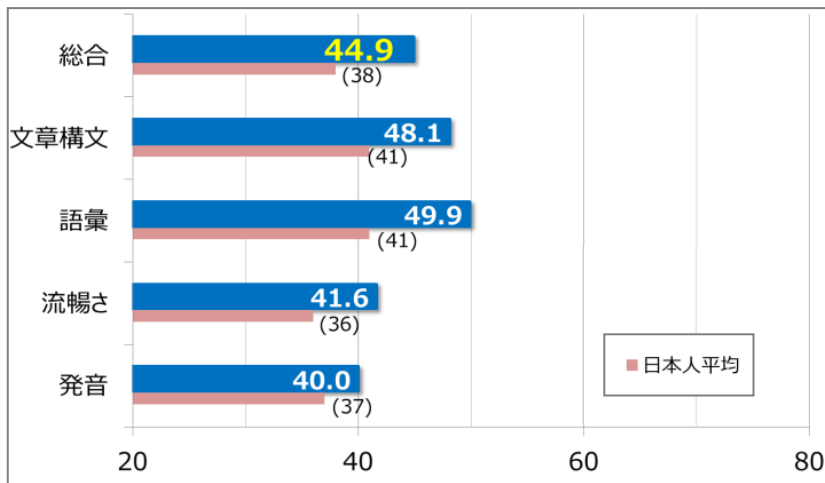
業種・職種別スコア



学生が首位と大健闘、サービス系も底力を発揮しました

項目別スコア

(総合・文章構文・語彙・流暢さ・発音) 日本人平均との比較



「流暢さ」と「発音」が苦戦、「語彙」は善戦と、補強ポイントが明確になりました

今回のスピーキング・チャレンジでは申告されたTOEICの点数の高さが関係者の間で注目されました。日本の数多くの企業ではTOEICが英語力の評価として素晴らしいテストとされており、それは間違いありません。ただ、VERSANTは現在、日本の多くの企業でTOEICとお互いを補完するために使われるケースが増えています。

上記のグラフで明らかなように、TOEICの900点台でもVERSANTでは今後のスキル向上に向けた目標を示すことができるからです。これまでスピーキングチャレンジに申し込まれて、2回目の受験をされていない方には是非これから受けていただきたいと思います。詳細レポートを来月初めにもお送りします。